

● 本日の卓話

「お花見例会」

於：紀三井寺ガーデンホテルはやし



● 次週の卓話

「外部卓話」

ラスベガスロータリークラブ

デイビット・ユーゼ さん

Mr. David M. Uze

● 先週の例会記録

- ✳ロータリーソング 我等の生業
- ✳ビ ジ タ ー 紹 介 ゲスト 2024-25年度青少年育成奨励金対象者
山本晴海さん、寺田侑史さん、藤本志保さん
- ✳出 席 報 告 (会員数77名、免除会員1名)
本日出席(3/25) 53名 68.83%
- ✳メ イ キ ャ ッ プ 地区へ2名
- ✳S. A. A. 野井和重さん、松井良樹さん、村田弘至さん、
(ニコニコ箱) 川端貞喜さん、松尾泰明さん、高 誠さん、
垣本英作さん、河村秀樹さん、笹本昌克さん、
中野智一さん、中谷友紀さん

本日合計 ¥40,000 今年度累計額 ¥1,698,000

- (財団寄付献金箱) 野井和重さん、松井良樹さん、村田弘至さん
- (米山奨学会献金箱) 野井和重さん、松井良樹さん、中谷久生さん
- (青少年育成奨励金) 野井和重さん、松井良樹さん、村田弘至さん、川端貞喜さん



4月は環境月間です



誕生日お祝い

● 会長あいさつ

会 長 野 井 和 重

【水道管】



水と衛生月間最後のおはなしは「水道管」から。令和2年1月に起きた花山交差点での水道送水管破損による陥没断水は記憶に新しい所ですが、今年1月埼玉県八潮市の中央一丁目交差点で発生した陥没事故ではライブ中継もあり救助・復旧の様子を目にすることができましたが、本当に悲惨な出来事でありました。こちらは下水道管の破損から誘発された陥没でありましたが、いずれにせよどの町でも起こりうることであります。

和歌山市をはじめ全国で水道料金の値上げがあります。これはインフラ再整備のために仕方のない事であるのだと思います。水道管について和歌山市の状況は、総延長約1,500キロ、大部分が昭和30～40年代に敷設されたものであります。一般的に水道管の法定耐用年数は約40年といわれていますが、約17%にあたる約250キロが対象となるそうです。全国の水道管の総延長は71万キロで、その15%が40年を超えていて、その殆どが昭和50年までに敷設が終わっています。もちろん水道管だけではなく上水道の施設も老朽化しています。和歌山市でも毎年10億円の予算で施設の改修新設は行われていますが、人口減少なども踏まえ、需要の多い水道管を見極めての更新となるはずですから、今後も漏水に関わる事故は起こるかもしれません。

先日お話しした「少子問題」も早くからわかっていたこと。

「水道管問題」もかなり前から問題視されています。低料金でこんなにも美しい水道水がでる国「日本」も、これから先どうなっていくのか。私が考えてどうなるものではありませんが、いつまでも安全安心「平和な日本」は続かないかもしれませんね。今日も着地点が見つからないあいさつでした。本日もよろしくお願いします。

会 長 報 告

青少年育成奨励卒業生の武中香奈枝さんがアフリカで行われた「アフリカトライアスロンカップ(2025/スワコブメント)」で見事4位に入賞されました。今後に期待です。

井手会員が長期欠席していますが、奥様にお伺いしたところお元気だそうです。はやく例会場でお会いしたいですね。

幹 事 報 告

- 例会変更のお知らせ (和歌山東RC、和歌山南RC、和歌山北RC、海南西RC、有田RC、田辺東RC、)
- 南ロータリー合同例会に参加お願いいたします。
- 大船山火災義援金を再度、2度目回覧します。先週、欠席の方よりお願いいたします。
- 田辺ロータリー70周年記念誌が完成しましたので回覧します。
- 更生保護サポートセンター和歌山第61号会報が届きましたので回覧させていただきます。
- 3月24日に福興建設株式会社が創立70周年を迎えました。これからも志高く、事業の益々の研鑽に励みます。

委員会報告

2024-25年度

青少年育成奨励金 下半期報告 及 奨励金授与

担当：青少年育成奨励特別委員会
川端 貞喜 委員長



やまもと せい かい
山本 晴海さん
県立星林高等学校1年
陸上競技



てらだ ゆう じ
寺田 侑史さん
県立桐蔭高等学校2年
缶サット・ロボカップジュニア



ふじ き し ほ
藤木 志保さん
神戸大学2年
陸上競技



出席・プログラム委員会
田村 歓彰 委員長
お花見例会のご案内



4月プログラム予定

和歌山ロータリークラブ
出席・プログラム委員会

4月	タイトル	卓話者
1日	「お花見例会」 〈於：紀三井寺ガーデンホテルはやし〉	
8日	「外部卓話」	ラスベガスロータリークラブ デイビット・ユーゼさん Mr.David M.Uze
11日(金)	「和歌山南R.C.様との合同夜間例会」(18:30～)	
18日	「外部卓話」	和歌山県福祉保健部健康局業務課 指導班 主査 榎本 章さん
25日	「新会員卓話」	森永暁和 会員
29日	例会取消〈祝日〉	

卓話

「殺処分ゼロの裏側で ～和歌山の野犬問題」

特定非営利活動法人 WITH DOG

理事長 **徳丸 希和さん**



和歌山市動物愛護管理センターは、開設以来6年連続で犬猫の殺処分ゼロを達成し続けてきました。

ところが、殺処分がゼロになったその裏で浮き上がって来た問題があります。ここ最近、テレビなどのマスコミの報道により注目されるようになって来た「野犬問題」です。

雑賀崎や加太地域で生息する野犬について、その数は増えておらず、咬傷被害の通報も全く無いに関わらず、テレビ報道の影響からセンターに多数の通報や苦情が寄せられるようになり、昨年9月の補正予算に捕獲のための費用が他の事業に優先して組まれることにもなりました。野犬の捕獲自体も困難ですが、実はそれ以上に困難なのが、捕獲した野犬たちを「殺処分ゼロ」を維持しながら保護していくことです。

どれほど関わり時間をかけても人馴れせず、リードを付けて犬舎から連れ出すことすらできない野犬たちが、譲渡も殺処分もできず、何カ月も狭い犬舎の中にうずくまって陽の光も浴びることすらできず、ただエサを与えられ生きながらえているのです。市の思惑通りに捕獲が進めば、そんな行き場の無い保護犬たちが増えていくことになります。

人の傍で生かしておくことがその犬にとっては苦痛でしかない、譲渡した先で人に危害を及ぼす可能性もある、それがほとんどの野犬の実態です。それでも捕獲を進めねばならないというなら、殺処分やむなしの覚悟もしつつ、譲渡につなげられる可能性のあるものを見極めて、センターとボランティアで連携しながら「社会化」「人馴らし」「トレーニング」を十分な時間と手間をかけて行っていく必要があると思われます。私達WITH DOGは、元々犬の適正飼育としつけの啓発を目的として立ち上げた団体なので、犬のトレーニングに関する知識と技術と経験を持っています。それを活かしながら、人も犬も苦しむことが無い社会に近づこう、できることを模索していきたいと思っています。



(左から) 野井会長、卓話ゲスト 徳丸希和さん